

令和 4年 11月 11日

大津町議会議長 桐原 則雄 様

大津町議会議員 西川 秀貢

## 自 己 研 修 成 果 報 告 書

大津町議会議員の自己研修に関する実施要綱第4条により、先に実施した研修について、次のとおり成果を報告します。

### 記

#### 1. 研修日時

令和4年11月8日から令和4年11月10日

#### 2. 研修先

大阪府大阪市、柏原市、堺市  
京都府京都市

#### 3. 研修目的

本町が取り組む駅周辺の開発について、官民連携によるまちづくりを進める柏原市を視察し、地元商工団体との意見交換をおこない、取り組みを学ぶことや、令和5年度より導入を目指す、社会体育施設の指定管理者制度の先進自治体である堺市を訪問し、今後の町の取り組みに役立てることを目的とし視察・研修をおこないました。

また、議会議員として質の向上をめざすため、地方議会総合研究所による地方財政と自治体予算についてのセミナーを受講しました。

#### 4. 成果(具体的に)

##### (1) 駅周辺の開発について(大阪府大阪市、柏原市)

まず、11月8日午後から、大阪市内にて、大阪府における商工団体の青年部と自治体との関係や、駅を核としたまちづくりの取り組みについて意見交換をおこないました。

翌、9日午後から、JR柏原駅周辺の、空き家や空き店舗を活用し新たな事業を開始した施設や、駐車場を活用したマルシェやイベントスペースの視察をおこないました。青年部を中心に町づくりが行われていた。

柏原市では、行政と商工会とが連携し、空き店舗や空き家をリノベーションし、新たに事業を展開する場合には市から補助金が交付される仕組みがあり、開業しやすい市の事業が確立していました。

今回訪れた店舗は、コロナ拡大後にオープンしたパン屋さんで、昼過ぎには完売するほどの人気店や、コンテナを利用したテナントの雑貨店や飲食店など、わざわざ行きたいと思わせるような運営をおこなう店舗も数多く営んでおられました。



また、商店組合の駐車場を活用した月に数回のマルシェやイベントには、市内外から多くの来場者が訪れ、賑わいの創出も実現しているとのことでした。

広報についても、SNSをはじめ、あらゆる媒体を駆使し、多くの方に知ってもらう取り組みもなされていました。

今回の視察、意見交換を通して、本町においても、商工会青年部、JA 青年部、JC 等若者を中心に行政が後押ししながら、世代にあった町づくりが必要と感じた。

## (2) 社会体育施設の指定管理について (大阪市堺市 美原総合スポーツセンター)

令和5年度より導入を目指す社会体育施設の指定管理者制度の先進自治体である堺市を訪問し、コナミスポーツ株式会社が運営する堺市美原総合スポーツセンターの施設を訪れ、視察、意見交換をおこないました。

この施設は、平成21年10月に開設され、テニスコート4面、多目的グラウンド(軟式野球コート1面、ジュニアのサッカーコート3面)、屋内プール(オールシーズン)、ジム、多目的ホール2室があり、開設当初から指定管理者制度を導入しており、利用料金のみで管理運営を実施する独立採算制(管理運営に係る指定管理料無)を採用し委託料は修繕費の400万円ほど(令和4年度)のみでした。

近年はコロナの影響で利用者減に伴う赤字ですが、コロナ禍以前では、平成30年度は1800万円ほどの利益を上げるなど、十分に採算の取れている施設でした。

指定管理者による直営ではできないような自主事業も多くなされ、小中学生を対象としたスイミング・サッカー・テニス・空手・ダンスなどのスクールの他、専門のスタッフによる各種レッスンなどの取り組みがされており、毎年行う利用者アンケートでも、利用満足度は例年80%を超えるとのことでした。

施設内の清掃や管理も行き届いており、掲示物などもきれいに分かりやすい配置がなされておりました。



堺市への視察と意見交換を通して、本町の指定管理者制度においては、引き渡す前に

採算が取れるよう改修工事を行い町民が年間日を払ってでも通いたいと思えるよう仕掛けて引き渡す事が出来れば、最低限の修繕費で収まり、あとは委託業者が運営していけると思われる。町民が進んで通うことにより、より一層の町づくりに繋がると思った。

### (3) セミナー受講について（京都府京都市 京都経済センター）

1期生としての自己研鑽を積むため、地方自治の要である、財政と予算、進化する自治体とは、について、前足立区教育長で文教大学客員教授の定野 司 氏による「よくわかる地方財政と自治体予算 ～進化する自治体をめざして～」と題したセミナーを受講しました。

このセミナーを受講し特に感銘を受けたことは、進化する自治体とは変化に対応できる自治体であり、自治体は進化する可能性がある。その原動力は自治体を動かす自治体の議員である。という言葉が印象に残っており、前例踏襲が悪いとは思いませんが、毎年同じ事業で成果の上がらないような事業も予算書を読むと見受けられる。また、長く続く事業ほど議論が不足しているとの言葉にも共感できました。

本町においては、財政力も地方交付税依存も全国平均を上回っているが、無駄な事業はないか、住民のみなさまから頂いた貴重な税金が適切に使われているのか、行政のチェック機能を十分に果たさなければ、町は進化しない、発展しないとのことを改めて実感しました。